

2016年10月17日

各位

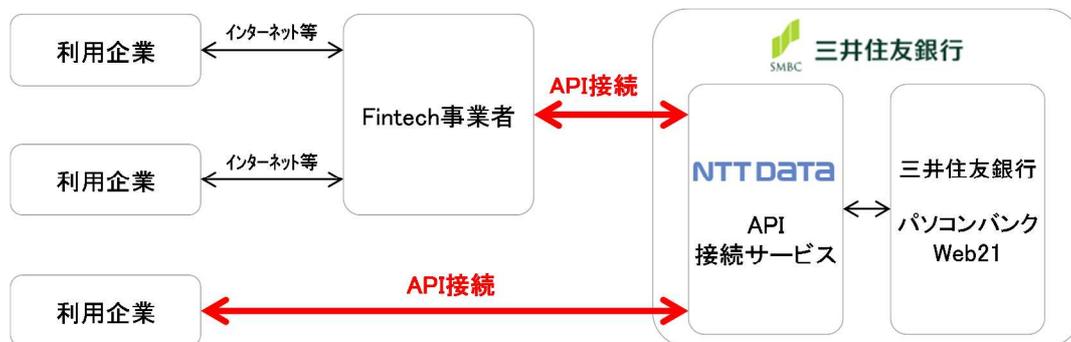
株式会社 三井住友銀行

振込機能を含む法人向け API 接続サービスの提供に向けた検討開始について

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅、以下「S M B C」）は、FinTech 事業者等と連携した法人のお客さまにおける決済関連業務の高度化支援を目的として、株式会社 N T T データ（代表取締役社長：岩本 敏男、以下「N T T データ」）と協働し、2017年春を目途とする振込機能を含む法人向け API 接続サービスの提供に向けた検討を開始しましたので、お知らせいたします¹。

S M B C は、今後も API をはじめとする様々なフィンテック関連技術やサービスをオープンに取り入れながら、より一層の商品・サービスの向上に取り組んでまいります。

（参考）法人向け API 接続サービスのイメージ



サービス名称	パソコンバンク Web21 『API 接続サービス』(仮称)
対象のお客さま	・ Fintech 事業者等が提供するサービスの利用企業等 (例：クラウド会計サービスや電子請求書サービスとの連携等) ・ 自社システムと Web21 の自動連携を行う企業、等

¹ なお、具体的なスキームについては、金融機関・IT 関連企業・金融行政当局等をメンバーとするオープン API のあり方に関する作業部会の報告書（本年度中を目途に取り纏められる予定）を踏まえ（ ）、検討していく予定です。

（ ）金融審議会・決済業務等の高度化に関するワーキング・グループ報告（5 頁）をご参照。

主な機能	<p>Web21 の機能を API にて順次提供してまいります。</p> <p>< 当初提供機能 (2017 年春頃予定) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合振込データの伝送 API ・ 入出金明細の照会 API ・ 認証 API
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ FinTech 事業者等にログイン ID やパスワードを開示することなく利用可能であり、セキュリティレベルが向上 (OAuth2.0 を用いたアクセストークンによる認証) ・ 確実なシステム連携が可能 (公式に提供された API による接続)
サービス内容	インターネット経由の Web-API

以 上